

一人一人が 生き生きと輝く 特別支援学級

～ 安心して過ごし、自分らしく表現
できる児童を目指して ～

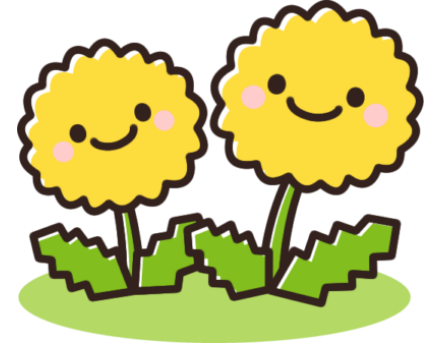
京都府綾部市立綾部小学校

山内 英代



I 実践にあたって

特別支援学級の状況



(大切にしていること)

- ・みんなで楽しい経験を積み重ねること

(課題)

- ・思いはあっても自己表現ができない。
- ・交流学級での学習の参加に不安が大きい。



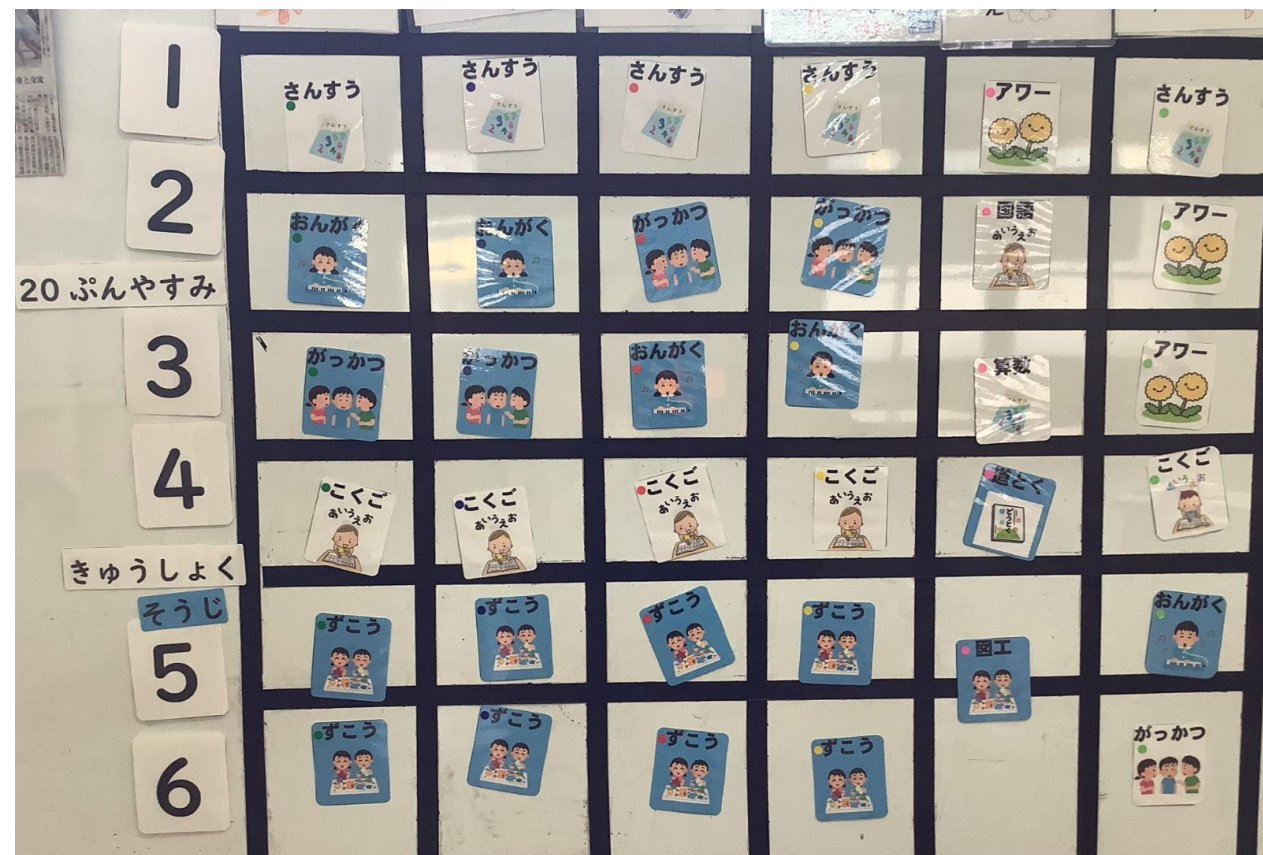
安心して学べる環境づくり

Ⅱ 実践内容

Ⅰ 安心して取り組める見通しの視覚化

「1日の流れ」の見通しの掲示

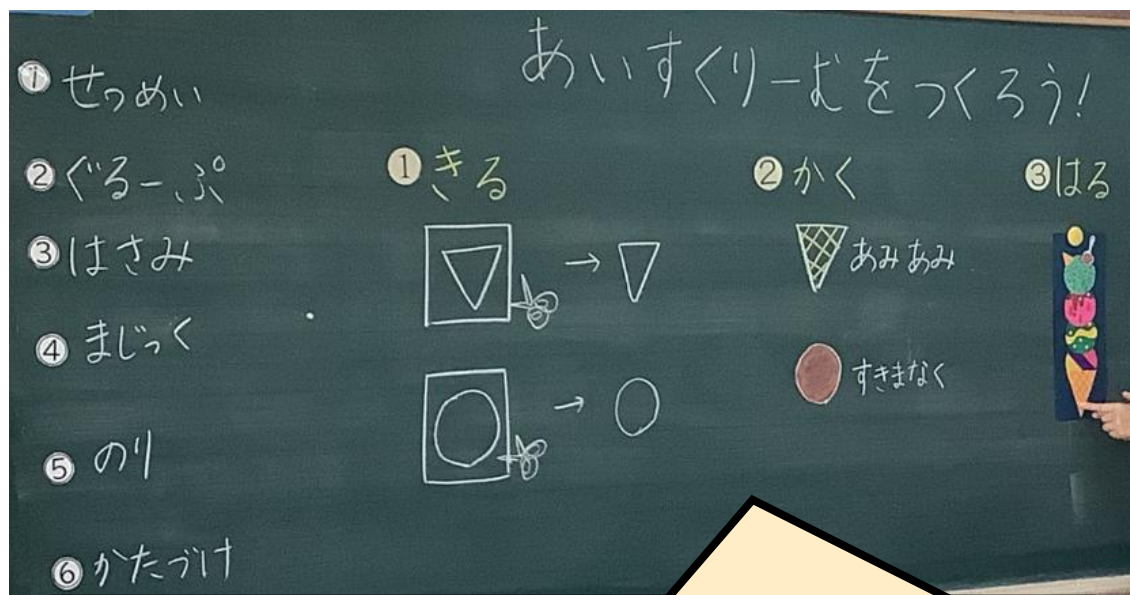
- ・ 支援学級と交流学級で学ぶ教科を色分けした時間割
- ・ 自分で掲示し、1日の生活に見通しを持たせる。



Ⅱ 実践内容

Ⅰ 安心して取り組める見通しの視覚化

学習の流れの提示やパターン化



はじめての学習でも、「学習の流れ」を提示することで、安心して取り組むことができる。

2 時間目	
こくご・さんすう	
1	新しいかん字
2	スイミー音読
3	スイミーししや
4	フリント
5	
6	

個別学習時の「1時間の学習の流れ」

- ① ひらがな
- ② 「ねことねこ」
おんどく
- ③ 「ねことねこ」
ぷりんと
- ④ おたのしみ

「1時間の学習の流れ」をパターン化して提示することで、見通しを持って学習に向かうことができる。

Ⅱ 実践内容

2 1対1の安心できる時間とペア学習の充実

個の課題に応じた指導の時間の確保

毎週、支援学級の学年会で時間割りの調整をし、個に応じた指導の時間を確保する。

ゆっくり話を聞いたり、ていねいに関わったりする時間としても大切にしている。



Ⅱ 実践内容

2 1対1の安心できる時間とペア学習の充実

同学年の友達と学ぶ時間の設定

- ★友達と一緒に考える場。
- ★友達の意見を聞いて、考えを広げる場。
- ★学んだことを生かす場。
- ★練習したことを発表する場。

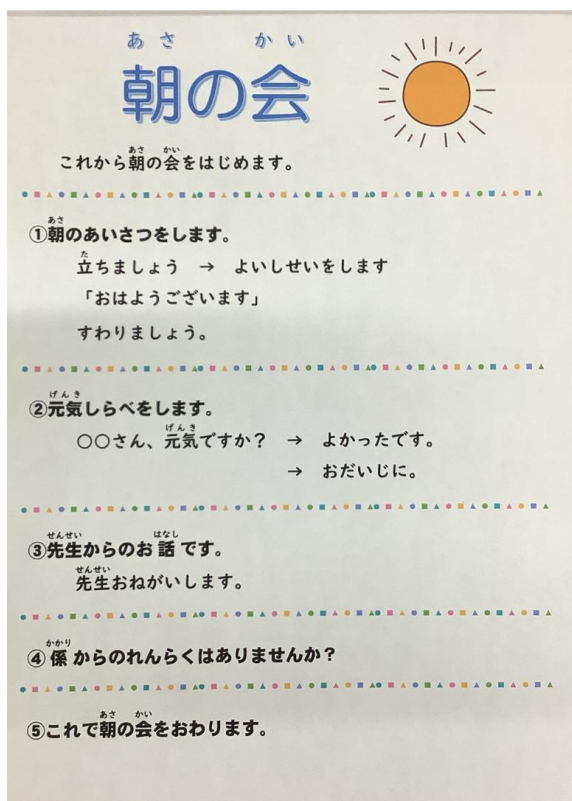


友達と一緒に学ぶ楽しさを感じさせる

II 実践内容

3 繰り返し行い、自信を持ってできるようになる役割

日直が進める「朝の会・終わりの会」



- ・ていねいな話し方の練習の場。
- ・友達の名前を呼んで覚える。
- ・友達の返事を聞いて、それに合った返答をする。



〇〇さん、
元気ですか。

はい！
元気です！

よかったです。

Ⅱ 実践内容

3 繰り返し行い、自信を持ってできるようになる役割

高学年が進める班活動



高学年が話し合いを進め、記録をする。



班ごとに掃除を行い、リーダーが反省会を行う。

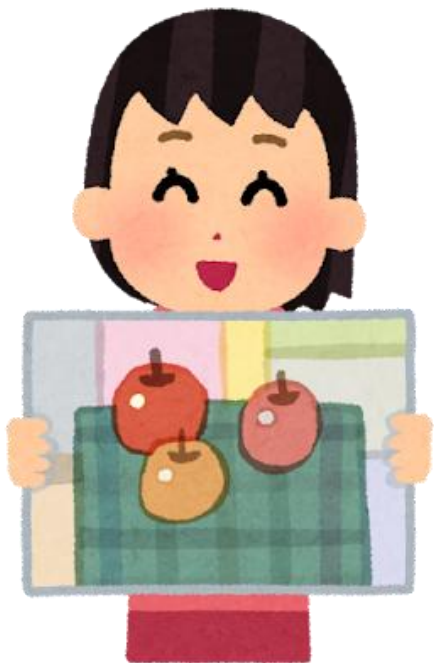
高学年の進め方やまとめ方を見て、学んでいく。

Ⅱ 実践内容

3 繰り返し行い、自信を持ってできるようになる役割

主体性を育む係活動

係ごとに、活動曜日や活動時間を決め、自分たちで活動できるようにする。



月末に、係の振り返りの時間を取り、今月の評価と、改善することを考えさせる。

かかりのなまえ
クイズ係

 ☐ ☒

いつ
火曜日

だれが
[Redacted]

なにをする
クイズの問題を出る。

ふりかえり			
4月	5月	6月	7月
			

またクイズを作ろう。またクイズをする。クイズを作って、みんなが楽しめるようにしよう。

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

生活単元学習「夏野菜を育てよう」

生長を楽しみに、毎朝水やりを頑張る児童の姿が見られた。

(単元計画)

- ① 育てたい野菜を決め、苗を植える。
- ② 世話をする。
- ③ 観察記録をかく。
- ④ 収穫をする。
- ⑤ 夏野菜のクイズ大会をする。

色を塗ったり○をつけたりして、自分でかける観察カード

やさいの かんさつ を しよう				
が	つ	に	ち	な
ね	ん	く	み	ま
み	た	に	お	つ
た	た	た	た	た
は	く	き	は	な
み				
は	な	の	か	ず
み	の	か	ず	
に	お	い	が	し
た				
ざ	ら	ざ	ら	
が	さ	が	さ	
ち	く	ち	く	
ふ	わ	ふ	わ	
ぬ	る	ぬ	る	

(単元のゴール)
夏野菜クイズ大会

自分の育てた野菜でグループを作り、1人1問、問題を作った。問題は3択にし、みんながクイズに参加できるようにした。

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

生活単元学習「秋のおもちゃまつりをしよう」

(単元計画)

- ① 班ごとに、したいお店を話し合う。
- ② 秋見つけに行き、必要な材料を集める。
- ③ お店の準備をする。
- ④ 役割分担・リハーサルをする。
- ⑤ 「秋のおもちゃまつり」をする。
- ⑥ 振り返りをする。

メンバー	
2	
はん	
どんなおもちゃ	
けん玉づくり	
ざいりょう・どうぐ	
(がっこうにあるもの)	
・紙コップ(×20)	・クレヨン
・毛糸	・セロハンテープ
・折り紙	・ビニールテープ
・はさみ	・プラスチックコップ
(ひらいてくるもの)	
・まつぼっくり(×18)	

① 計画をたてる

(単元のゴール)
秋のおもちゃまつり

- ・めいろ屋さん
- ・さかなつり屋さん
- ・けん玉づくり屋さん

難易度の違うものを用意するなどみんなが楽しめる工夫をすることができました！

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

自立活動「サーキットトレーニング」「図工」

(ねらい)

- ・年間を通して、身体のコントロール、基本動作の習得、手先の操作性を高める。
- ・ペアやグループで活動することで、教え合ったり協力して取り組んだりする力を育てる。

ペアやグループで活動することで、ちょっと難しい課題にも友達と一緒に挑戦し、楽しい時間を共有することができた。



図工「アイスクリュームづくり」

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

遊びの指導

低学年を中心に、1日の終わりにプレイルームでの遊びの時間を設定

この時間を楽しみに、1日の学習を頑張ろうとする姿が見られた。

遊びの中で、時間やルールを守ること、思いをことばで伝えることが少しずつできるようになってきた。



プレイルーム

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

学期始めや学期末に、みんなで楽しむ活動

学期始めや学期末にみんなで
楽しむ時間を設定



- ・その時間を楽しみに登校
- ・学期のよいスタートやよい
終わりにつながった。



金魚すくい

Ⅱ 実践内容

4 課題を達成する・やりがいを感じる取組

みんなで完成させる学級目標

毎月、学級目標のふり返りの時間を取り、自分の頑張りを赤い魚に書いて貼り、みんなの頑張りで大きな魚を完成させた。



Ⅱ 実践内容

5 交流学級でも安心して学べるための支援

交流学級の担任との連携

- ★週予定の確認
(持ち物、学習内容や場所など)
- ★ペアやグループ編成の配慮
- ★児童の様子との交流

事前練習の実施

- ★生活科など発表練習
- ★歌やリコーダーなどテスト練習
- ★交流学級の担任に伝える練習



交流学級でも、自信を持って活動する姿が見られた

Ⅱ 実践内容

5 交流学級でも安心して学べるための支援

全校児童への理解促進 「かがやき週間」の設定

「かがやき週間」

- ★支援学級について学ぶ週間を設定する。
- ★学年ごとに理解指導を行う。
- ★学んだことを生かして学年遊びをする。
- ★支援学級の学習の様子を参観する。

たんぽぽ学級について



かがやき週間
令和8年5月

今日のめあて

たんぽぽ学級の話聞き、
自分の行動について考えよう。

理解指導 指導資料

理解指導
の中で、当該
児童の得意
なこと、頑
張っているこ
とも伝えた。

たんぽぽがっきゅう について

かがやき しゅうかん
れいわ8ねん 5がつ

きょうのめあて

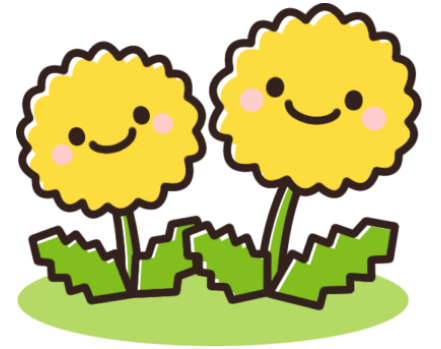
★たんぽぽがっきゅうに ついてしる。

・どんなふうになかよくしたらいいか
かんがえる。



Ⅲ 成果と今後の課題

成 果



- 生活単元学習を楽しみに登校したり、楽しい活動を目指して学校生活を頑張ろうとしたりする姿が見られた。
- 教師を介しての関わりから、友達を誘ってみんなで遊ぶなど、児童同士の関わりが増えた。

Ⅲ 成果と今後の課題



今後の課題

- 「安心できる環境」の中で、さらに「自分らしく表現」できるよう、ことばの力や話す力を育んでいきたい。

➡ 継続した「スピーチ活動」

- 集団の中で学ぶことに課題がある児童が多い。

➡ 児童の自立と社会参加を目指した支援や取組ができるよう研鑽していく。

ご清聴ありがとうございました

